

横須賀地区交流会

会長挨拶

2017.06.03

改めまして、皆様こんにちは。今日も暑くなりました。不安定気温が続きながらも梅雨へて、猛暑の夏へと向かうそうです。

そんな中、この日ために体調を整えご参集いただき、本当にありがとうございます。

本日はお忙しい中、情報労連神奈川県協議会と NTT 労組神奈川グループ連絡会の事務局長を兼務されている宮城事務局長に、そして、今月6/18 告示 6/25 投開票で行われる市長選挙で情報労連が推薦決定した、吉田雄人(よしだ ゆうと)横須賀市長においでいただきました。また、情報労連・NTT 労組自治体議員団の矢島まち子横須賀市議会議員、さらに当会館のオーナーでもあります長谷川横須賀市議会議員にもご出席いただきました。大変ありがとうございます。

なお、昨年お世話になりました組織内石橋参議員からは、メッセージをいただいておりますので後程披露させていただきます。

さて、昨年 11 月の総会から早くも半年が過ぎました。皆様のご協力のもと、取り組みを進めております。

とりわけ、昨年 7 月の参議院選挙では、組織内候補「石橋みちひろ」議員再選へのご協力をこの場所においてもお願いし、そして見事当選させていただきました。改めて皆様のご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

国会・政治は、森友学園・加計学園について文書や記録の恣意的な破棄や隠匿、答弁の開き直りや恫喝と安倍政権、菅官房長官の傲慢さが目に余る状況が日増しにエスカレートしています。

参議院審議入りした「共謀罪」法案は、一般人をも監視する法案であることは多くの学者・専門家が指摘しており、心の自由を侵害し、「監視社会」へとつながるものであることはあきらかです。(この共謀罪の本質は、これまで犯罪ではなかった 277 の罪を新設する警察の権力強化法であり、国民の監視が目的にあるともいわれています)

国連の専門委員会から、さらに元 CIA 職員から日本に対し、人権問題など様々な指摘がありますが、「国」安倍政権は、無視もしくはまた恫喝

という形で対応しており、日本の国際的信用を著しく損なわせています。

さらに北朝鮮の核、ミサイルへの日米政府の戦争の危機感をあおる過剰反応による戦力強化。その延長線上での戦争のできる「憲法改正」へとひた走る安倍政権の沓に、

「いったん共謀罪が成立してしまうと、安倍政権が黒を白と言ったらそれが現実になるだろう。戦前の治安維持法の再来とまで言われる悪法である。政府のウソを見抜き国民一人ひとりが本気で抵抗しないと、この国は崖を滑り落ちるように独裁国家に転落していく」との警告もあります。

すでに警告が現実のものとなりつつある気がしています。

改めて、私たち「退職者の会」会員は、戦争体験者として、また体験者から直接話を聞ける世代のものとして「どんな理由があろうとも悲惨な戦争は2度とやってはいけない」、さらにごく普通の一般人として、「自由にもものが言える社会を次の世代に残さなければいけない」と訴え続け、行動することが、私たち一人ひとりに課せられた未来への責任である、ことを強く感じているところです。

さて、昨年4月のあの熊本地震から1年と2か月。

NTT 労組は、5/24 付で「熊本地震被災者支援カンパ」についての最終報告を行いました。カンパ総額約1億7千万円、被災状況に応じて現役(含、管理者・非組)の被災者約2000人に9500万円、退職者の会の被災会員約1500人に7500万円の支援がなされました。改めて、カンパへのご協力に感謝申し上げます。

引き続きNTT 労組と一体となり支援の取り組みを行っていくこととします。

そして、東日本大震災から、6年と3か月が過ぎました。

3・11が過ぎたらマスコミもこぞって、潮が引くように話題にしなくなったが、本年4/1 現在、福島県からの避難者は全国で約8万人、神奈川県には2,612人の避難者が生活しています。

『支部協ニュース』でも触れましたが、改めて、福島の復旧・復興はまだまだ遠い現実にあること、を心に留め、NTT 労組と連動した「忘災」(災害を風化させない、忘れない)に関わっていきたいと思います。

その一つとして、宮城事務局長の前で恐縮ですが、本年4/22に藤沢の鵜沼海岸で行われた情報労連神奈川県協議会主催の「復興支援チャリ

ティー地引網」は、61 人の避難者の皆さんをご招待し、私たち退職者の会からの 62 人を加え 400 人をこえる参加者を得て、暑くもなく寒くもなくの天候にも恵まれ大成功裏に行うことができました。

改めて現役の皆さんと一体となり「復興支援チャリティー地引網」に取り組めたことに感謝を申し上げたいと思います。

また先日、私たち退職者の会神奈川に NTT 東日本神奈川事業部より、神奈川事業部が取り組んでいる福島復興支援「福島ひまわり里親プロジェクト：ひまわりを育て復興につなげよう」への協力要請があり、喜んでとりくみこととしました。のちほど、徳永事務局長から具体的に説明いたしますので是非積極的なご協力をお願いいたします。

今年度のこの地区交流会では、これら災害を「ひとごと」から「自分ごと」へと「まず自らの命を守る」ためとして、「災害にそなえて」と題し、当該自治体の緊急災害時等の対策を知り、備えをより現実的なものとする場といたしました。

県下4地区のトリを飾る本日の横須賀地区交流会は横須賀市からお話をいただきます。すでに、3 月には横浜市から、4 月は藤沢市からそして先月小田原市とそれぞれ具体的な対策を聞くことが出来ました。

是非、自らの備えを改めて見直していただきたいと思います。

また、「いざという時」の安否確認用連絡先の登録を全会員にお願いすることとし、今月 26 日発行予定の支部協ニュース一面に登録とりくみの趣旨 (災害時のいざという時に安否被災状況等を把握し、グループ連絡会のサポートを得ながら、具体的な共済手続きの支援等の対策・活動のとりくみに供する)など具体的な登録方法などを掲載いたしますので、是非ご協力をお願いいたします。

本日は、半日という限られた時間ですが、交流を深め有意義な時となることを祈念し、挨拶とさせていただきます。